

令和 8 年度

収 支 予 算 書

令和 8 年 4 月 1 日
～
令和 9 年 3 月 31 日

令和 8 年 3 月 17 日

一般財団法人**省エネルギーセンター**

令和8年度事業基本方針

1. 基本認識と活動方針

現在の国際情勢をみると、イランやパレスチナなど緊迫した中東情勢、長引くウクライナ侵攻、更には米国の異例の関税政策等により日々状況が変化し、先行きが極めて不透明であり、エネルギーを巡っては「安全保障」がこれまで以上に重要な課題となっています。

また、2015年のパリ協定以降におけるエネルギー環境分野の懸案である「カーボンニュートラル（CN）の実現」については、米国の協定脱退や脱炭素政策の見直し、更には電力多消費のデータセンターの世界的増加見通しなどにより、対応がより難しくなっています。

こうした状況の中、我が国として適切に対応していくためには、第7次エネルギー基本計画等で示された方針のもと、化石エネルギー中心の産業構造・社会構造をクリーンエネルギー中心に転換すべくグリーントランスフォーメーション（GX）を具体化していく必要があります。

そのためには、再エネ、原子力発電などクリーンな非化石エネルギーへの転換を着実に進めるとともに、この非化石エネルギーを含むエネルギー全体の使用合理化を徹底していくことが求められます。

以上のようなニーズを踏まえ、50年近くにわたり内外の省エネ等を推進してきた当センターといたしましては、令和8年度においては主に次のような視点から積極的な活動を展開します。

第一には、省エネを草の根的かつ多面的に推進します。このため、産業、業務、家庭、運輸等すべての部門におけるエネルギー使用設備・機器について省エネ性の高いものへの更新を効果的な情報発信等により促進するとともに、これら設備機器の運用等に係る省エネ支援を拡充します。

特に技術、人材、資金等の制約が大きい中小企業等については、地域の省エネ支援機関、金融機関、中小企業支援機関等と連携しながら診断・指導等を通じてエネルギー管理の浸透・強化を図ります。

第二には、カーボンニュートラル（CN）に向けエネルギー利用の最適化を進めます。

このためには、非化石エネルギーへの転換も含めエネルギー管理をより系統的に実施していく必要があることから、診断やソリューション活動等において、IoT機器やAI分析等を活用した省エネを進めるとともに、太陽光発電等の利用や上げ下げ DR 対応等の視点も加えた包括的な手法の開発・適用を図ります。

また、企業等がCNの実現に向け省エネ、再エネ利用、電力化、カーボンクレジット活用等の対策をサプライチェーンも念頭に置きながら長期的に進めるに当たっては計画策定、対策の立案・実施、活動人材の育成等を支援します。

第三には、グローバルな観点から、特に経済発展に伴いエネルギー需要が増大している新興国等を中心に省エネや再エネ利用に係る国際協力を推進します。この場合に我が国の優れた省エネ等技術や政策・制度が模範として極めて有効であることから、対象国・地域における専門人材の育成等を図りながら、その普及に努めます。

また、経済界との連携のもと国際ビジネス交流等を通じて、我が国の高効率な省エネ等技術の普及、更には政府が推進する「アジア・ゼロエミッション共同体 (AZEC) 構想」関連のプロジェクトの創成等を図ります。

2. 令和8年度の事業計画等の概要

(1) 事業計画の骨子

以上の活動方針を念頭に、令和8年度は具体的な事業を以下の5つの柱に整理して計画的に実施します。

- I. エネルギー利用の最適化等に向けた政策への協力
- II. 省エネ関連情報の発信
- III. カーボンニュートラルに向けた支援サービスの拡充
- IV. 省エネ関連国際協力・ビジネス交流の推進
- V. 国家試験等の円滑な実施

(2) 収支予算等

令和8年度の事業計画に基づく予算及びその策定方針は以下のとおりです。

- ① 予算規模は、センター独自の事業、国・関係機関からの受託事業等の規模を想定し、全体としては21億円程度を見込んでいます。
- ② センター独自の事業については、新たな事業の開発、既存事業の拡充を通じ、規模の拡大・内容の充実に努めます。
- ③ 国等の受託事業についても、政策協力の観点から積極的に競争入札の応札等を行い、提案・企画能力、コスト競争力を強化しつつ、事業拡大に努めます。

収 支 予 算 書

収支予算書の会計区分表記の説明について

〈実施事業等会計〉

公益法人から移行認可を受けた一般財団法人が、公益目的支出計画に沿って公益目的財産額を費消するために実施する事業の会計区分。

〈その他会計〉

移行認可を受けた一般財団法人が、実施事業以外の事業の費用と収益を、整理するために設けられた会計区分。

〈法人会計〉

直接には事業の収益に関わらない、評議員会及び理事会の開催運営費、理事、監事及び評議員の報酬等管理部門で発生する費用と収益を整理するために設けられた会計区分。

以上

令和8年度収支予算書
令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位:円)

科 目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	0	0	2,279,000	2,279,000
特定資産運用益	0	0	5,890,000	5,890,000
賛助会費	0	0	135,670,000	135,670,000
事業収益	32,472,000	588,893,000	-	621,365,000
試験・講習事業収益	0	425,682,000	-	425,682,000
出版事業収益	0	93,578,000	-	93,578,000
通信教育・講座等事業収益	0	45,014,000	-	45,014,000
その他事業収益	32,472,000	24,619,000	-	57,091,000
受取補助金等	1,116,583,000	220,082,000	-	1,336,665,000
受取国庫補助金収益	590,254,000	0	-	590,254,000
受取受託収益	526,329,000	220,082,000	-	746,411,000
雑収益	0	0	50,000	50,000
受取利息	0	0	50,000	50,000
雑収入	0	0	0	0
経常収益計	1,149,055,000	808,975,000	143,889,000	2,101,919,000
(2) 経常費用				
事業費	1,167,363,000	768,875,000	-	1,936,238,000
職員等人件費	374,535,000	127,509,000	-	502,044,000
臨時雇用員費	284,530,000	138,675,000	-	423,205,000
旅費交通費	98,735,000	21,884,000	-	120,619,000
諸謝金	94,504,000	50,657,000	-	145,161,000
会場費	11,615,000	27,530,000	-	39,145,000
印刷製本費	11,777,000	28,519,000	-	40,296,000
委託費	29,787,000	79,185,000	-	108,972,000
租税公課	24,477,000	19,565,000	-	44,042,000
その他事業費	237,403,000	275,351,000	-	512,754,000
管理費	-	-	125,434,000	125,434,000
職員等人件費	-	-	78,595,000	78,595,000
臨時雇用員費	-	-	8,000,000	8,000,000
賃借料	-	-	11,818,000	11,818,000
諸謝金	-	-	5,618,000	5,618,000
委託費	-	-	2,727,000	2,727,000
租税公課	-	-	9,312,000	9,312,000
その他事務費	-	-	9,364,000	9,364,000
経常費用計	1,167,363,000	768,875,000	125,434,000	2,061,672,000
当期経常増減額	△ 18,308,000	40,100,000	18,455,000	40,247,000
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 18,308,000	40,100,000	18,455,000	40,247,000
一般正味財産期首残高	276,125,000	1,013,126,000	611,346,000	1,900,597,000
一般正味財産期末残高	257,817,000	1,053,226,000	629,801,000	1,940,844,000
II. 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	700,000,000	0	0	700,000,000
指定正味財産期末残高	700,000,000	0	0	700,000,000
III. 正味財産期末残高	957,817,000	1,053,226,000	629,801,000	2,640,844,000

(注1) 当年度より消費税等の会計処理を税込方式から税抜方式に変更した。

(注2) 短期借入金限度額：経常収益の合計額を限度とする。